



校長通信 Morifun

第2号 4月後半のトピックス

皆さんこんにちは。校長通信第2号です。さて4月後半のトピックと言えばなんと言っても！

4月16日(日)
第76回 盛岡市内一周継走大会

(4/18(火) 岩手日報より抜粋)
「盛大附A首位譲らず 一関学院に競り勝つ」

盛岡大附Aは「先行逃げ切り」の理想的なレース展開に持ち込み、2年ぶりに頂点に立った。前回覇者の一関学院に競り勝つての優勝に、平澤 岳監督は「20年以上も直接対決で勝てなかったチームにやっと勝てた。選手がよく走ってくれた」目を赤くした。

1走・佐藤誠悟主将(3年)が流れをつかった。自分のペースをしっかりと刻み、個人1位の17分6秒でつないだ。2走・岩崎晟斗(2年)も、一関学院との差を22秒から50秒まで広げる好走で続いた。3走・野月慧史(2年)、4走・熊谷泰晟(2年)も粘り、最終5走・菊地冬磨(3年)が歓喜のゴールへ。「今までで一番うれしい瞬間だ」と充実感を漂わせた。



当日は朝から強い雨が降って、スタート時点でも小雨が間断なく降り続くあいにくの天候でしたが、そんな中でも盛大附チームはたすきをつないで力走を見せてくれました。



盛附各チームの成績は以下の通りです。

男子 盛岡大附属A 第1位

〃 B 第7位

女子 盛岡大附属 第6位

選手の皆さんだけでなく、沿道でサポートや応援に頑張ってくれた生徒の皆さんも一丸になっての成果だったと思います。

改めて、おめでとうございます！



4月25日(火) 全校礼拝

今年度初めての全校礼拝が行われ、賞状伝達式の後、敬虔な雰囲気の中で全校生徒が鈴木道也先生のお話を聞きました。

先生は先日お亡くなりになった小説家の大江健三郎さんのご著書の中から、読書について「ゆっくり読むことが大切」で、「途中で読み進められなくなったらいったん読むのをやめて、

また時間をおいて読めばよい」というお話に触れられ、私たちの人生においても「ある時間待ってみる」ことの大切さをお話してくださいまし



た。例えば、難しい数式を解いていて分からない所は（ ）の中に入れておいて、他の分かるところを解いている内に（ ）の中も解ける力がついてくるというお話は、「生き続けていくことの大切さ」に通じるお話でした。20歳の時に解けなかった人生の問題も、30歳、40歳になれば解けるかもしれない。諦めず、結論を急がず、「ある時間待ってみる」。私自身、とても良いお話をお聞きできたと、感動を覚えました。生徒の皆さんはいかがでしたか？

ご講話の後、先生と私で「JOJO話し」で盛り上がりってしまったのも嬉しかったです。



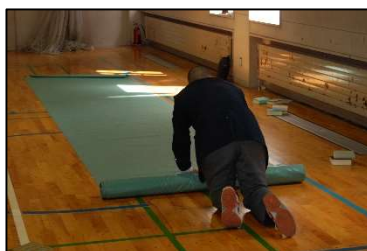
鈴木先生のお話の後は、生徒会の皆さんから様々な情報提供がありました。今回の礼拝は、



整列から最後のお話まで生徒会の皆さんがしっかり役割を果たしてくれていたと思います。生徒の皆さんの整列も、予定より3分早く完了し、私は

「盛附生やるじゃん！」の意を強くしました。これからもこういう集会時などには、生徒一人ひとりが主体的に動いて、雰囲気を作って行っ

て頂きたいですね。



最後の後片付けもありがとう！

4月25日（火）ボランティア委員会 地域清掃活動

ボランティア委員の生徒さんたちが、かなり広い範囲をみんなで協力して、ごみ拾いに汗を流してくれました。



生徒の皆さん、ご指導くださった先生方、ありがとうございました！